

Peace Wave Concert

荒木栄のステージ『星よお前は』『5月のうた』参加の皆様へ

2012. 11. 6

荒木栄の女性合同にご参加頂きありがとうございます。
荒木栄の作品は闘いのなかで生まれ、育まれ多くの労働者を励ましてきました。
今回あらためて女性合同の2曲を歌ってみると荒木栄の温かさ、運動を切り開いてきた
明るいエネルギーを感じます。まさにうたごえの原点ともいべきこれらの作品の演奏を
通じて65周年のうたごえの新しい一歩を踏み出す力を皆さんで共有したいと思います。
是非ともこれら女性合同曲を演奏するメンバーの輪を広げていきましょう。

指揮者 山本恵造

出演の詳細

- 1、日時 11月24日(土) Concert 開場 17:20 開演 18:15
終演 21:00
- 2、場所 広島市文化交流会館 (11/1からの呼称⇒広島文化学園 HBG ホール)
〒730-8787 広島県広島市中区加古町3-3.
広島駅南口より広島電鉄 広島港(宇品)行 20分(150円)「市役所前」下車 徒歩12分
タクシー(小型)で南口より20分 約1200円
- 3、衣装 上 白長袖ブラウス 下 黒ロングスカートまたはパンツ 黒靴
- 4、コンサートを聴く方は座席券 B 券(2500円)必要(全国協議会で事前に購入必要)
出演だけの方はチケット不要

当日のスケジュール

- 24日(土) 14:40 ホールホワイエ集合 挨拶、打ち合わせ、並びをします。
(並びは登録者であらかじめ決めておきますが並んでみます)
- 15:00 座席または舞台裏待機
- 15:10~15:40 舞台にてリハーサル
リハーサル室へ移動
- 15:45~16:15 リハーサル室にて練習
いったん解散

18:45～19:25 着替えを済ませ、リハーサル室に再集合
発声・練習

(本番中の練習になりますので、コンサートを聴かれる方で、舞台リハーサル&15:45～の練習に参加された方は少し遅れても結構です)

その後、舞台裏に移動・待機

19:55 女性合同本番 ピアノの他に楽譜通りバイオリン&チェロの伴奏付きです。

コンサート終了 21:00頃

尚、他の演奏に出演される方で重なっている場合は、本番、舞台リハーサルを最優先にして、参加できる時間に参加してください。重なりのない場合はなるべく参加をお願いします。

歌いかた

「星よお前は」

■ 作者が指導した大牟田「水曜コーラス」の会員が結婚して東京に移ることになった。遠く離れていても仲間としていつも励まそうというあたたかい気持ちを込めて、結婚の席上で贈った曲。

* 全国協議会に作っていただいた、200円の楽譜を基にします。

* 楽譜に間違いがあります。P3上段3小節目、ソプラノの歌詞付けが「うたっていること」になっていますが、「うーたってること」（今まで歌っていた通り）にしてください。

* 3番、ソプラノのオブリガートはなしにします。

【1番】

ほ「し」よ おまえは 「し」っているね の「し」が強くなるように。やさしく。
仲間はなれて (mf) 2回目は心の中で言うようにmpぐらい
遠くに行った（「たー」でクレッシェンド
「瞳まどかな」大きく
アルトの「ひーとーみー あーーのこと」のオブリガート、明るく上に響かす。
(2・3番も同じ)

【2番】

pで
あと1番に同じ
2番の後、間奏があるので間違えて出ないように。

【3番】

明るく、でも荒っぽくならない。
「なーかーまー よーぶーうたを」「ぶ」が遅くならないこと。
1番とは歌詞付けが違うので間違わない事（2番の「うーたーのこと」も同じ）。
「あ」行や「え」行でもあまり大きく口を開けないで、口の形をかえないで歌う（たての口

で)。(「5月のうた」も同じ)

「5月のうた」

■ ♪～あふれる思い出よ五月…。1962年、労働者作曲家・荒木栄の友人で当時、全九州合唱団会議事務局長として共に九州のうたごえ運動をすすめてきた神谷国善が、音楽センター勤務のため上京する歓送会で贈られた歌。

神谷は荒木に一番好きな季節を聞かれ、若葉、鯉のぼりの季節であり、長じて兄妹4人揃ってメーデーに参加した喜びの5月と答えていた。神谷は戦争も貧乏も搾取も差別もない社会への夢に向かって九州のうたごえ運動の「あふれる思い出」「なつかしい思い出」、三池・安保闘争の「息づまる思い出」が歌い込まれたと解説(新日本出版社『荒木栄の歌と生涯』)。

二人は歓送会が最後の別れとなり、荒木はこの年の秋、転移性肝癌で没した。

*楽譜P 5最後の小節に小さな音符がありますがこれは歌いません。

4小節をワンフレーズに感じてつなげる。そのフレーズの中で大きな山を作る。またフレーズの最後までエネルギーを持ち、息を流して伸ばす。どのフレーズもだが、特に最後2小節のばすところエネルギー切れにならないように。

3拍子のリズムが勝ちすぎることなく大きなフレーズで歌う。

「かがやくよ」喉の奥を開いて優しく入り、広がっていく。

「うつくしい」の「う」を詰めて歌わない。

「今 きみをおくろう」きみの「き」が勝ちすぎないように。

(1, 2, 3番共通)

【3番】

「息詰まる～」pで緊張感を持って歌いだす。

「五月～五月～」のところでクレッシェンドしていく

最後Codaのところ合唱の部分の楽譜がないのですが、2小節伸ばす(指揮者が切るまで)

お願い

当日の練習時間がほんとに少ししか取れませんので、指揮を見て歌えるよう出来るだけ暗譜でお願いします。どうしても場合は楽譜を見ても構いません。

お問い合わせは

北飯(きたい)史子

TEL 0745(73)7213

FAX 0745(73)7216

E-mail singsong_fumiko3@fol.hi-ho.ne.jp

又は田中早恵 (さえ)

E-mail sakiti-1017@kif.biglobe.ne.jp

まで